

事故 管理No.	事故発生日	曜日	発生時間	事故区分	地区名	営業所名	氏 名	職種	年齢	勤続	損害程度(品目・負傷状況) (損害額)	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事 故 内 容
													名称	本・支店、工場	

1	J8100227	2025/9/9	火	11:20	労災	中四国	赤坂事業所	協力会社乗務員	乗務	68	9年0ヶ月	指切断	7日	-		協力会社乗務員が、積替地にて、地面から左手を輪木に載せて、荷台に昇ろうと、右手を積荷の4P鉄骨(梁)に手をかけたところ、その鉄骨が倒れてきて左手指先に落下しリン木との間に挟まれ負傷した。
	確認日	2025/9/29	月	確認者 (安全)		発生要因	■ 乗務員は、昇降設備を使うことを認識していたが、荷台が低いので必要性を感じていなかった。 ■ 自社乗務員が昇降設備を使うよう指導できていなかった。					再発防止対策	■ 積荷の積み替え時には、事前に胴締めした状態(積荷にワイヤーやラッシングベルトをかけた状態)で積込し、荷台に昇らず地面から固縛や養生ができるよう作業手順を見直した。その手順を乗務員や作業指揮者に周知するとともに管理者は定期的に確認した。 ■ やむを得ず荷台に上がらなければならない場合、昇降設備を使用することを協力会社含め繰り返し周知を行い、管理者はできているか確認する。 ■ 自社作業指揮者への再教育を行った。			

2	J8100229	2025/9/10	水	09:50	交通(対車)	中部	三重	自社乗務員	乗務	48	27年0ヶ月	前面バンパー運転席側に擦り傷	-	-		9月10日8時着で岐阜市内の現場で荷降ろし後、9時頃に鋼製空パレットを5枚積載して卸地へ向かう。帰路の伊勢湾岸道下り49.7kmポスト付近で、積載していた鋼製パレットの床板が風圧で剥がれ飛来し、後続車に当たり破損させる。
	確認日	2025/9/24	水	確認者 (安全)		発生要因	■ 乗務員に養生シート掛けを行わなければならない意識はあったが「風で飛ばないだろう」という甘い認識があった。 ■ 養生シート掛けを周知させるために管理者はパトロールしていたが、現場から事業所まで運ぶ荷物までは点検できておらず、過去に同様事故が発生しているにも関わらず全車できているかどうかを確認する取り組みができていない。					再発防止対策	■ 貨物有無に関わらず全て養生シート掛けをルール化した。 ■ 再度、養生シートを掛ける目的を自社、協力会社乗務員に対し教育した。 ■ 自社乗務員に関しては現場積込完了後、シート掛けされた荷姿を写真撮影し配車係(管理者)へ転送、徹底できているか確認することとした。			

3	J8100242	2025/9/23	火	17:50	労災	関西	大阪南物流センター	派遣会社作業員	作業	66	1年0ヶ月	両足首骨折	30日	-		派遣作業員が、トラック入出荷バースで、廃ダンボールを、トラックバースに移動させている際に、ダンボール数個がホーム下に落下しそうになり、ホーム下でダンボールを受け止める為、地面に飛び降りた際両足首を骨折した。
	確認日	2025/10/6	月	確認者 (安全)		発生要因	■ 日常的にホーム下へ飛び降りていた(怪我しないと思っていた)。					再発防止対策	■ 以前から表示している飛び降り禁止を再見直しし、再教育を行った。 ■ 廃段ボール用のパレットを準備し、長尺用に使用、リフトで搬送シューターまで運び廃棄することとした。 ■ 長尺サイズ以外の段ボールはパレット集積分を3階へ上げ、シューターラインへ廃棄することとした。			